

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会社	ホーザン株式会社
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
製品番号	H-42-3707 / H-42-3717 / H-42-3719 / H-42-3720	
製品名	ハンダ	
使用用途	フラックス入りハンダ	

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	： 爆発物	： 分類できない
	可燃性ガス	： 区分に該当しない
	エアゾール	： 区分に該当しない
	酸化性ガス	： 区分に該当しない
	高圧ガス	： 区分に該当しない
	引火性液体	： 区分に該当しない
	可燃性固体	： 分類できない
	自己反応性化学品	： 分類できない
	自然発火性液体	： 区分に該当しない
	自然発火性固体	： 分類できない
	自己発熱性化学品	： 分類できない
	水反応可燃性化学品	： 分類できない
	酸化性液体	： 区分に該当しない
	酸化性固体	： 分類できない
	有機過酸化物	： 分類できない
	金属腐食性物質	： 分類できない
	鈍性化爆発物	： 分類できない
健康に対する有害性	： 急性毒性 経口	： 分類できない
	急性毒性 経皮	： 分類できない
	急性毒性 吸入気体	： 区分に該当しない
	急性毒性 吸入蒸気	： 分類できない
	急性毒性 吸入粉じん	： 区分4
	急性毒性 吸入ミスト	： 区分4
	皮膚腐食性／刺激性	： 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 区分2A
	呼吸器感作性	： 区分1

皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	区分2
発がん性	:	区分2
生殖毒性	:	区分1A
特定標的臓器毒性 単回ばく露	:	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性 反復ばく露	:	区分1(肺、神経系、造血系、免疫系、心血管系、腎臓)
誤えん有害性	:	分類できない
環境に対する有害性	:	水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない
	:	水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない
	:	オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 :

危険

危険有害性情報 :

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激

吸入すると有害

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による肺、神経系、造血系、免疫系、心血管系、腎臓の障害

注意書き

安全対策 :

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

応急措置 :

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合 : 医師の診察/手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合 : 医師の診察/手当てを受けること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管：容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

廃棄：内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一 混合物の区分：混合物

化学名又は一般名	CAS No.	官報公示整理番号	化学物質管理 促進法(PRTR法)	含有量 (%)
錫(Sn)	7440-31-5	対象外	該当しない	59
鉛(Pb)	7439-92-1	対象外	697(特定第一種)	39
ロジン	8050-09-7	対象外	該当しない	1.9

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：皮膚を速やかに洗浄すること。

医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合：医師の診察／手当てを受けること。

口をすすぐこと。

予想される急性症状：皮膚への長期のばく露では、脱脂性があり、皮膚炎を引き起こす。

最も重要な兆候：医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤：適切な消火剤：特殊粉末消火薬剤、乾燥砂、二酸化炭素

使ってはならない消火剤：他の消火剤は不可

特有の危険有害性：火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

- 密閉された場所は換気する。低地から離れる。風上に留まる。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。
- 回収・中和 : 漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。
- 封じ込め及び浄化方法 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : 全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所・全体排気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意 : 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
周辺で高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。眼に入れないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

- 技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

- 保管条件 : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。
冷所、換気の良い場所で保管すること。
酸化剤から離して保管する。
容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

- 混触危険物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

- 容器包装材料 : 規制なし。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : Pb : 0.05mg/m³(鉛及びその化合物、Pbとして)

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

- : 日本産業衛生学会

Pb : 0.1mg/m³(鉛及びその化合物、アルキル鉛を除く、鉛として)

	: ACGIH
	Sn : TLV-TWA 2mg/m ³ 、
	Pb : 0.05mg/m ³ 、A3;(BEI 鉛及びその無機化合物、Pbとして)
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 銀白色の光沢のある金属
臭い	: なし
pH	: データなし
融点・凝固点	: 約183～190℃
沸点	: データなし
引火点	: ロジン : 約260℃
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 約8.5
溶解度	: 水に不溶
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
臭いの閾値	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性	: 該当なし
粘度	: 該当なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 反応性及び自己重合性等の性質はない。
避けるべき条件	: 高温の物体。
混触危険物質	: 強酸化剤、強アルカリ。
危険有害な分解生成物	: 火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスが発生することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 : データなし 経皮 : データなし 吸入 : 吸入すると有害
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 強い眼刺激
呼吸器感作性	: 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	: 発がんのおそれの疑い
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性 単回ばく露	: 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性 反復ばく露	: 長期にわたる又は反復ばく露による肺、神経系、造血系、免疫系、心血管系、腎臓の障害
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 海上規制情報	該当しない
	国連番号	該当しない
	品名	該当しない
	国連分類	該当しない
	容器等級	該当しない
	: 航空規制情報	該当しない
	国連番号	該当しない
	品名	該当しない
	国連分類	該当しない
	等級	該当しない
国内規制	: 陸上規制情報	該当しない
	: 海上規制情報	該当しない

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
: 航空規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
等級	該当しない

特別な安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則	該当しない
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則	該当しない
労働安全衛生法 鉛中毒予防規則	鉛(施行令別表第4)
労働安全衛生法 第28条3項	該当しない
労働安全衛生法 第57条表示対象物質	政令番号 : 322(すず)、411(鉛)、632(ロジン)
労働安全衛生法 第57条通知対象物質	政令番号 : 322(すず)、411(鉛)、632(ロジン)
化学物質排出把握管理促進法 PRTR法	鉛(特定第1種 : No.697)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	施行令第2条 金属屑
大気汚染防止法	有害物質(施行令 第1条)
水質汚濁防止法	有害物質(施行令 第2条)
土壌汚染対策法	特定有害物質(第2条第1項)
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。
詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。